

# 平成30年6月議会提案理由

## 「住みやすさ日本一が実感できるまちを目指して」

◆6月1日に開会された市議会定例会で、市長が述べた内容(概要)をお伝えします。

### 環境施設の更新

昨年11月2日に地元自治会と環境施設の建設に関する基本協定書および環境保全協定書を調印させていただきました。12月15日には入札公告を行い、現在、事業者から提出がありました技術提案書に係る書類審査を行っているところです。

7月には、本市が設置している事業者選定委員会において事業者を選定することとしており、平



交流拠点施設イメージ

整備を進めてまいります。また、付帯施設として整備する(仮称)「環境学習都市宣言」記念公園については、現在、交流拠点施設の工事着手に向けた準備行為を行っているところで、本体施設に先駆け平成32年4月の供用開始に向け、整備を進めてまいります。

### 市民病院の 滋賀県済生会への移行

守山市民病院は、4月1日に、滋賀県済生会を指定管理者に定め、「済生会守山市民病院」として新たなスタートを切ることができました。

現在、済生会へ移行していた

成33年10月の供用開始に向けて、鋭意事業を進めてまいります。

また、付帯施設として整備する(仮称)「環境学習都市宣言」記念公園については、現在、交流拠点施設の工事着手に向けた準備行為を行っているところで、本体施設に先駆け平成32年4月の供用開始に向け、整備を進めてまいります。

いずれにいたしましても施設の整備および維持管理にかかるコストに十分配慮する中、地元をはじめ市民の皆さまにとって安全・安心な施設、また、交流拠点施設は、地域の活性化につながる施設としてまいります。

活が送れるよう対応してまいります。

まいります。

### 大庄屋諏訪家屋敷

守山南中学校の大規模改修事業については、第1期工事を終え、第2期工事に係ります契約の準備を進めているところで、今議会開会中に提案していきたいと考えています。

また、今議会におきましては、第3期工事としての普通教室や特別教室などの充実に向けました守山南中学校の増築に係ります設計予算を提案しております。

### 子どもの育ち連携

次世代を担う子どもたちが健康やかに成長できる環境を充実するため、今年度、子どもの育ち連携担当を設け、保健、福祉、教育部門が部局横断的に施策を展開できるよう検討を開始いたしました。健康福祉部、こども家庭局、教育委員会の各部署の次長級を中心としたプロジェクト・チームを設置して、先般、1回目の会議を開催し、妊娠期から学齢期にわたる子育て支援施策の再整理と課題の共有を実施したところです。今後は、先進地を参考にしながら、本市の状況にあった有機的な連携方法や家庭の教育力向上に向けた効果的な取り組みの検討を進めて



大庄屋諏訪家屋敷

まいります。

### 新図書館

「守山市民一人ひとりの迎賓館」となる大庄屋諏訪家屋敷が7月に開館いたします。開館後の運営については、教育やまちづくり、文化、観光などさまざまな分野における活動の場として、また、会食もできる空間として、より多くの皆さまにご利用いただけるよう、指定管理者や地域の皆さまと十分に連携を図ってまいります。また、5月24日に、「大庄屋諏訪家屋敷」をはじめ、「すし切りまつり」、「慈眼寺」、「守山の湧水とホタル」が日本遺産の認定を受けました。今後、観光などに大いに活用して

いただきました。また、5月24日に、「大庄屋諏訪家屋敷」をはじめ、「すし切りまつり」、「慈眼寺」、「守山の湧水とホタル」が日本遺産の認定を受けました。今後、観光などに大いに活用して



新図書館イメージ

### 庁舎整備

昨年度、基本計画の検討を進

設などにより需要の多い低年齢児の受入枠の拡大を図ってまいります。

全国的な保育士不足の中、本市といたしましても公立・民間園ともに給与面などの雇用条件の改善を行ってまいりましたが、結果として、必要な保育士の確保に至らず、平成30年4月1日現在の待機児童は、育児休業取得者31人を含め84人となりました。

今後、女性の社会進出や幼児教育・保育の無償化などの影響を踏まえ、平成31年度開園の学校法人ヴァーリズ学園により古高保育園での定員枠の拡大とともに、将来に渡り保育ニーズを充足させるため、喫緊の課題であります保育士の確保と定着に資する取り組みの充実、また、更なる新たな園整備も含めてハード、ソフト両面から具体的な対応方針をとりまとめ、順次、取り組んで行かなければ

### 保育園における 待機児童

昨年度は、小規模保育所の新

める中、極めて厳しいスケジュールであることが判明し、また、厳しい財政状況などを勘案する中、計画を延伸せざるを得ないと判断したところです。

事業実施の時期については、基本的に環境施設の本体工事の整備以降とし、今後、議会の皆さまをはじめ、市民の皆さまのご意見を十分にお聴きし、財政見通しを踏まえ、整備の時期を決定すべきと考えています。

基本計画については、これまで外部委員により「庁舎のあり方検討委員会」において検討してきた内容をもとに、「市民懇談会」や、専門家から構成する「計画策定アドバイザー」を設置し、広く、また、専門的なご意見をお伺いする中、今年度内に取りまとめを行ってまいります。

### 銀座再開発事業

5月10日の守山銀座ビル再開発組合による開札で「北川・伊藤・奥田建設工事共同企業体」が建築本体工事を落札いたしました。今後は、6月に工事着手し、西棟は来年の3月、東棟は来年の秋ごろにそれぞれ竣工する予定と伺っております。本再開発事業により、駅前周辺に質の高い賑わいが創出されますよう引

ならないと考えています。現在、鋭意検討を進めており、今後の議会の皆さまとしっかり議論の中で、方針をまとめ、対策を順次、講じてまいります。



保育園イメージ

### 学校規模の適正化

大規模校の状況にあります守山小学校と守山南中学校の今後の児童・生徒数を改めて検証した結果、両校の児童・生徒数が分離の目安でありまして、200人を超えない見込みとなりました。しかしながら、大規模校であることは現実でありますことから、施設面、また教員配置などについてきめ細かな対応を行うことにより、児童・生徒が良好な環境で学校生活

き続き、行政としても技術的支援を行ってまいります。

### 他市との交流

去る5月14日と15日の2日間、福井県大野市と岐阜県高山市を訪問いたしました。両市は、本市の金森町出身で、越前大野城主、飛騨高山城主となった金森長近公を「縁に、歴史・文化的に本市と深いつながりのあるまちです。各市長と面談する中、①災害対応連携、②子どもたちの交流、③市民・地域レベルの交流、④長近公にちなんだ観光ルート設定などの検討を進めることで、基本的な思いが一致したところであり、今後、具体的な連携策の検討を両市とともに進めてまいりたいと考えています。



高山市との交流の様子